

海外論文発表奨励賞の論文審査を終えて。〈選考委員会からのコメント〉

・評価方法

今回大学院生から2篇のご申請を頂き誠にありがとうございました。

今回も現地参加に加えオンライン参加者を対象に募集いたしました。評価方法は、各選考委員が持ち点3点を、優秀な論文順に2点、1点の配点をしました。

20名の選考委員のうち16名で1次選考を終え1篇の優れた論文を選びました。

成績優秀者に重点を置き、2次選考委員会にて1名の受賞者を選考決定いたしました。

・講評

研究の背景と目的に対し、その成果と意義がきちんと対応付けられた論文が総じて高得点を得ました。また、専門外の先生にもわかりやすく解説できた論文が多くに支持を得ました。

・注意事項

1. 専門用語多く、専門外の先生方に理解しにくい申請書は採点上不利になるのでご注意ください。日本人の申請者には日本語での解説を望みます。

2. 申請書のフォームを超え、2ページを超える申請書は受理を拒否するか、もしくは3ページ以降をカットされて採点されます。

複数の論文を審査する都合上、下記の様な申請書は減点対象になります。

1. 目的・成果が重要なポイントにもかかわらず大変短い申請書。

2. アブストラクトの字数オーバー。難解な説明。

3. 申請書のフォームに準拠せずに字数オーバーしている申請書。

4. 略号使用が多く、丁寧な記述にかけている申請書。

＜その他の減点対象項目＞

・出張先の州を書いていない論文。

・著者が単名の論文。(複数の著者がいる場合)

・サマリーが大変短い申請書。

・内容説明書に自分の発表題名が書いていない論文。

・協会から

コロナ後国際的な学術的交流が活発化しています。ネットワーク会議に加え、会場に出かけて意見を交換し合う国際交流の重要性はますます増大すると考えています。当協会は、これからも国際性豊かな人材の育成に注力して参ります。今後とも一般社団法人生産技術振興協会(大阪大学生産技術研究会)の国際交流活動への積極的なご参加をお待ちしています。